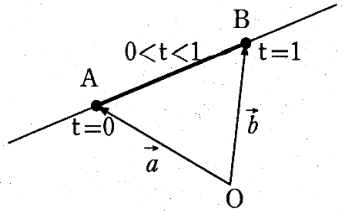
ベクトル方程式　No.2　　2年　　組　　番　氏名

既習事項

$A(\vec{a}), B(\vec{b}), P(\vec{p})$とするとき，　$\vec{p}=s\vec{a}+t\vec{b}$　　条件：　$s+t=1$，$s\geqq 0$，$t\geqq 0$

を満たす点$P(\vec{p})$の存在範囲は線分ABである



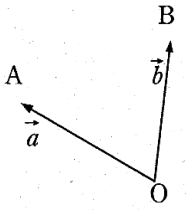
応用例題7

△OABにおいて,次の式を満たす点Pの存在範囲を求めよ。

$\overrightarrow{OP}=s\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB}$，$0\leqq s+t\leqq 1$，$s\geqq 0$，$t\geqq 0$

① 条件を満たす$s+t$の値を１つ定め図示しよう。またs+tの値を変えたとき,点Pの存在範囲はどのようになるか考えよう。

【　　】



② 既習事項との条件の違いは何か。

【　　】

③ 既習事項を用いて△OAB内の線分になることを正確に説明しよう。

【　　】

④ s+tの値を変化させたら,どのような存在範囲を示すか正確に説明しよう。

【　　】

⑤ 係数の和をs+t=k$(0<s+t\leqq 1)$と固定し，ベクトル方程式を表現し直そう。

【　　】